

令和5年度臨時評議員会 議事要旨

1 開催日時

令和6年1月23日（火） 午後1時33分から午後2時まで

2 開催場所

- (1) 東京都立川市柴崎町三丁目9番2号 立川駅南口東京都・立川市合同施設5階
東京しごとセンター多摩 501会議室
- (2) Web会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)による出席

3 会議の種類等

令和5年度臨時評議員会

4 評議員及び監事の現在員数

- (1) 評議員 11名
- (2) 監事 3名

5 定足数

- (1) 評議員会開催のための定足数
決議において特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数 6名
- (2) 定款の変更の決議に必要な定足数
決議において特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数 8名

6 評議員の出欠状況

- (1) 出席者 10名（評議員名簿順）
直接出席 … 加藤 仁、高橋 弘行、井澤 智、吉岡 敦士、宮崎 安基、内田 知子、
坂田 融明、田中 良明
Web会議出席 … 橋本 陽子、小林 治彦
- (2) 欠席者 1名
白木 三秀
- (3) 決議において特別の利害関係を有する評議員
なし

7 出席役員

- (1) 理事 1名
中澤 基行（理事長）
- (2) 監事 3名
池野 大介、佐々木 洋人、武岡 忠史

8 議 長

加藤 仁 評議員

9 決議事項

第4号議案 定款の変更（案）について

第5号議案 役員の報酬等に関する規程の一部改正（案）について

10 議事の経過要領及びその結果

東京しごとセンター多摩501会議室及び各評議員の参加会場において、Web会議システムにより出席者の音声と映像が他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認した。

(1) 開 会

新井総務課長が開会を宣した。

(2) 理事長挨拶

中澤理事長が挨拶を行った。

(3) 評議員等の紹介

事務局が、前回開催以降に新たに就任した評議員を紹介するとともに、出席役員、新任事務局職員を紹介した。

(4) 議 長

事務局から、評議員会の議長は定款第22条に基づき出席評議員の互選による旨の説明がなされ、評議員に対して議長の互選を諮ったところ、事務局一任となった。

事務局が加藤 仁 評議員を推し、加藤評議員がこれを承諾し、他の評議員も同意したことから、加藤評議員が議長に選出された。

(5) 定 足 数

事務局が、評議員11名のうち10名が出席し、いずれの評議員も特別の利害関係を有していないことから、定款第27条に定める評議員会定足数を満たしていることを報告した。また、「定款の変更」の議案については、定款24条第2項により、特別の利害関係を有する評議員を除き3分の2以上の評議員をもって決議を行う必要があることを説明し、この要件も満たしていることを報告した。

この説明及び報告を受け、議長が、本評議員会が成立していることを宣した。

(6) 議事録署名人

事務局が、定款第27条第2項に定める評議員会の議事録署名人について説明し、議長が、議長以外の議事録署名人2名について提案した。指名された両評議員がこれを承諾し、他の評議員も同意したことから、本評議員会の議事録署名人が選出された

(7) 決議事項①

「第4号議案 定款の変更（案）について」

事務局から説明がなされ、審議がなされた。

(質問、意見等)

○評議員

「高年齢者等が蓄積した多様な能力・経験を社会の中で活用する」とあるが、「活用する」の主語、主体は誰か。

◇事務局

一義的には兼業・副業先の中小企業になるが、事業として「そういう場を設ける」という意味では、我々財団も主体になりうる。社会全体での活用と考えている。

○評議員

「活用」というと、誰かが蓄積した高年齢者の能力・経験を「使う」という印象を受けた。「多様な能力・経験を蓄積した高年齢者等が社会の中で活躍することを促進するための事業」とする方が、説明の趣旨に沿うのではないかと感じた。

◇事務局

お見込みのとおり、「企業間の人的資源の移動等を通じて社会の中で活かせるものをつくりたい」という趣旨で考えている。

(質問、意見は以上)

(8) 議案審議結果①

議長が、第4号議案について賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

(9) 決議事項②

「第5号議案 役員の報酬等に関する規程の一部改正(案)について」事務局から説明がなされ、審議がなされた。

(10) 議案審議結果②

議長が、第5号議案について賛否を諮ったところ全員異議なくこれを承認した。

(11) 全体を通しての質疑応答

議長が、全体を通しての質問・意見等を募った。

(質問、意見等)

○評議員

しごと財団には長きに渡り求職者の支援に尽力いただいていた。近年、特にコロナ終息後は人手不足がかなり深刻化しており、女性、シニア、外国人等の人材が求められると考えている。シニアについては、しごと財団には、前身である東京都高齢者事業振興財団時代からシルバー人材センターで尽力いただいていた。企業でも70歳までシニアの方を雇用する動きがある中で、企業内だけではなく他の企業へ派遣する動きも広がってきていると聞く。仕事をしたいと思うシニアの方にとって、企業に残るという選択肢も、地元でキャリアチェンジしシルバー人材センターで頑張るという選択肢もある。その中間のような形で、企業に籍を置きながら、人材を求める他の企業で兼業・副業やスポット就労なども試しながら、様々なキャリアシフトの選択肢を持っていただきたいと考えている。ぜひ、シルバー人材センターと含めてお力添えをいただきたい。

(質問、意見は以上)

11 閉 会

本評議員会で予定していた決議事項について全て終了したので、議長は、午後2時に閉会を宣し、解散した。